

## 県はこうして生まれた ～明治政府はなぜ廃藩置県をしたの?～

新潟県新潟市立新潟小学校 政谷 英樹

### 1. はじめに

明治政府は、明治4年（1871年）藩を廃して府・県をおき、中央から府知事・県令（=のちの知事）を派遣して治めさせるという改革を行った。政府が直接全国を治める中央集権国家の形をつくりあげる基盤となった廃藩置県の目的を地図帳から探させることにした。

### 2. どうして昔の国と都道府県の名前は同じじゃないの?

帝国書院『小学生の地図帳(最新版)』（以下、地図帳）のp.3～4を開かせて、明治元年の昔の国と今の都道府県の名前が同じところはどこかと尋ねた。

子どもたちは、二つの日本地図を見比べてしきりに探すが、同じ名前がないことに気づく。明治時代に、現在の都道府県名にほとんど変わってしまったことを知らせると、その理由について話し合いをはじめた。

明治政府は、新しく、気分を変えたかったのではないかと、昔の国のままだと何か都合の悪いことがあったのではないかと、などの意見がでた。

### 3. 江戸幕府と明治政府のちがいは?

江戸幕府は、そもそも幕府と藩との封建体制で成り立ってい

た。藩は、参勤交代や工事の負担があったものの、一応独立国のようなものであったことを子どもたちと確認した。

そして一方、明治政府は、諸外国に対抗する力をもつために、政府中心の強力な近代国家をつくる必要がでてきたが、そのためにしたことは何だったかと聞くと、政府の指示がよくゆきわたり、兵力、税金をたくさん集めることではないかと子どもたちは考えた。

### 4. 明治政府は、順調なスタートができたの?

新政府軍が旧幕府軍に勝利した戊辰戦争では、本県の長岡市や隣の福島県会津も戦場となったことが、地図帳（p.33）に示してある。その学習をきっかけに、新潟市にも、その戦火が及んだ事実を調べる活動に広がっていった。

さらに、戊辰戦争後の明治2年に行われた、版（=土地）と籍（=人民）を天皇に返す版籍奉還を調べた子どもの中には、旧藩主がそのまま残っているために、明治政府は力を発揮しにくかったのではないかと疑問をもつ子もいた。

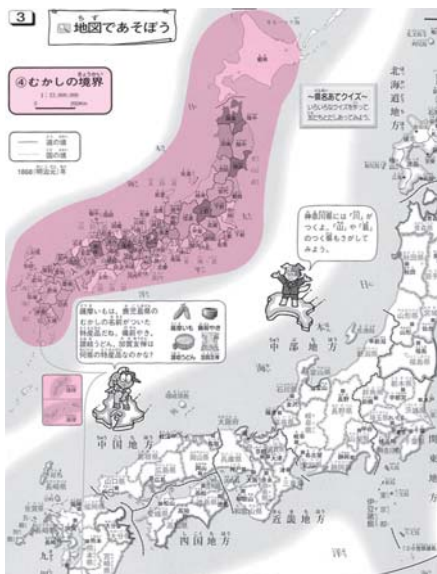
### 5. 廃藩置県をなぜしなければならなかったの?

明治政府は、廃藩置県を明治4年に断行したこと。藩を廃して、7月には3府302県とし、11月には3府72県、明治21年には1道3府43県とさまざまな経緯をたどり、現在の1都1道2府43県にまでなったことを知らせた。廃藩置県と同時に、政府から各府県へ知事や県令が送り込まれた事実を知った子どもたちは、政府から全国へ指示がゆきわたるようになったのではないかと考えはじめた。

### 6. おわりに

明治維新は、政治の大変革である。それが地図帳からも読み取ることができる。270年続いた藩を廃して、新たに県をおくことの意味が子どもたちは理解できたようである。地図帳をよく使いこなしている子どもの中には、昔の国の名前にちなんだ地名（越後平野など）がいたるところに使われていることに興味をもつ子がたくさんいた。

子どもたちは、藩や昔の国の名前をなくし、新しい県を誕生させたのは、新しい時代を切り開こうとした明治政府のねらいだったのではないかと考えることができたのである。



帝国書院『小学生の地図帳(最新版)』p.3